

地域虐待対応研修指導者養成研修（グループA）

1 目的

市町村が児童虐待の通告先となったことに伴い、要保護児童対策地域協議会を中心とする市町村の虐待対応力の向上を図る一環として、都道府県・政令指定都市における研修体制の整備充実を目指し、研修講師及び企画立案を行う者を養成する。

2 テーマ

「児童虐待関連諸制度の理解」「的確な要保護児童対策地域協議会の運営」
「リスクアセスメント」「虐待を受けた子どもと家族等の支援」

3 対象

児童相談所、要保護児童対策地域協議会の調整機関の職員及びこれらの機関を所管する本庁の職員で、都道府県・政令指定都市から研修講師、企画立案担当予定者等として受講の推薦を受けた者

4 期間

平成20年6月3日（火）～6月6日（金）

5 内容

	時間	科 目	講 師	内 容
1 日 目 午 後	12:30	開 会		
	13:00	【講義1】 児童虐待関連諸制度の 理解	厚生労働省雇用等・ 児童家庭局	児童虐待防止法・児童福祉法など関連諸制度につ いて、理解を深める。
	15:00			
	15:15	【グループ討議1】	参加者	参加者の職種、経験などをもとにグループ編成し、 児童虐待に関する地域の課題などについて情報・意 見の交換を行う。
	17:45			
	18:00	【交流会】		
19:30				
2 日 目 午 前	9:30	【講義2】 要保護児童対策地域協 議会の運営	学識者	要保護児童対策地域協議会の調整機関及び関係機 関が連携し、的確な対応をしていくための運営のあ り方について学ぶ。
11:30				
2 日 目 午 後	12:30	【演習】 リスクアセスメントの あり方(グループ討議を 含む)	学識者 児童相談所経験者 参加者	児童虐待への対応にとって、リスクアセスメント は不可欠である。ここでは、リスクアセスメントに 必要な情報の収集とケースの見立てについて、実際 にアセスメントシートを活用する演習を含めて学 ぶ。
17:00				
3 日 目 午 前	9:30	【講義4】 虐待を受けた子どもと 家族・ハイリスク家庭の 支援	学識者	虐待を受けた子どもとその家族やハイリスク家庭 に対し、社会資源を活用して地域レベルで支援して いくための方策などについて学ぶ。
12:00				

	時間	科目	講師	内容
3 日 目 午 後	13:00	【演習】 個別ケース検討会議の 運営	助言者：学識者 参加者	要保護児童対策地域協議会で重要な役割を担う個別ケース検討会議について、演習を中心に、会議運営や機関連携のあり方を実践的に学ぶ。
	17:00			
4 日 目 午 前	9:30	【講義5】 児童虐待の心身の発達 に及ぼす影響	医師 臨床心理士	発達過程にある子どもにとって、虐待体験が心身の発達に与える影響が指摘されている。これまでに報告されてきた研究を概観し、理解を深める。
	12:00			
	12:15	終	了	